

施設名： ウェルネスフォレスト三日市

指定管理者名： HOSグループ 株式会社 東大阪スタジアム

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	S	S
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	S	S
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	S	S
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	B
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	B
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	S	S
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

## 2. 総合評価（自己評価）

総合評価コメント欄（今年度の成果、今後の改善の方向性、取組などを記入）

今年度は施設の強みである「家族と一緒に利用できる施設づくり」を目指した運営を行いました。春休みは、春の入会キャンペーンを実施し、施設として初めての試みである価格を下げ、3か月間は続けて利用していただける施策を実施しました。3か月続けて利用していただくことで、運動習慣が身につくことができ、利用者の意欲向上に繋げることができました。会員数としては、近隣の地域にフィットネス施設が出てきたこともあり、利用者は減少傾向となっており、施設としては別の強みを作る必要がございました。

夜間利用が低下している事もあり、学生層の来場促進策として「学割プラン」を実施しましたが、キャンペーン期間が短い事もあり、利用促進までは繋げることができませんでした。しかし、少ない利用者数ではありましたがリピート率が高いこともあり、次年度の計画に入れ、常時実施を行いたいと思います。3月度は、新型コロナウイルスの影響で開館ができませんでしたので、再開された際は安全面を強く打ち出し、快適に利用できる部分を踏まえた施策を行っていきたいと思います。

自主事業に関しては、夏休み短期教室は過去最高の参加者数となり、また今回はHOS三日市とコラボレーションを行い体操教室と併用しての開催し、普段スイミングしか来られていないお子様も新しい体験として提供することができました。今回の短期教室の際には家族で利用できるシステムとして「家族割」を実施しました。こちらも時期として短くなってしまった為、次年度に継続して実施していきたくて考えております。

次年度が契約終了時期となる為、H30年度の利用者数の水準に戻すことを目標として利用者が快適に利用できる施設づくりを目指します。

## 3. 収支差額

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年実績	備考
収入	利用料金収入	60,315,000	49,079,750	11,235,250	59,368,400	
	自主事業収入	27,827,000	26,995,558	831,442	26,759,318	
	物品販売収入	2,250,000	1,720,026	529,974	2,082,469	
	その他収入	0	281,440	▲ 280,740	393,498	
	指定管理料	22,266,090	29,239,313	▲ 6,973,223	23,521,577	
	収入総額	112,658,090	107,316,087	5,342,003	112,125,262	
支出	人件費	53,317,000	57,678,970	▲ 4,361,970	52,765,355	
	事務費	6,360,000	6,448,510	▲ 88,510	5,676,937	
	管理費	32,742,090	31,311,004	1,431,086	33,115,422	
	自主事業経費	12,900,000	9,916,302	2,983,698	12,201,027	
	リース料	7,339,000	7,325,106	13,894	6,783,541	
	その他	0	780,389	▲ 780,389	30,022	
	支出総額	112,658,090	113,460,281	▲ 802,191	110,572,304	
収支差額		0	▲ 6,144,194	▲ 6,144,194	1,552,958	

## 4. 市評価

今年度は春の入会キャンペーンの実施や「学割プラン」、「家族割」の実施、新規会員への回数券の購入勸奨等、施設の課題を分析して様々な施策を実施することにより、新規会員獲得、利用継続促進に努めました。一方で、近隣のフィットネス施設の増加や新型コロナウイルスの感染拡大等の影響により月会員の減少、利用者数の減少が見られ、収支差額は▲6,144,194円と赤字になりました。

令和2年3月より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館としておりますが、施設再開の際は安全面を第一に感染予防策を講じ、利用者の運動不足解消のために寄与することを期待します。

次年度は指定管理最終年度となりますが、引き続き、利用者の利用傾向の分析、ニーズに応じた新規事業の導入や充実事業の検討を行い、利用者に健康・運動に関心をもってもらえるような環境づくりに努めるとともに、幅広い年齢層が利用する施設の効用を最大限に発揮できるような運営を期待します。